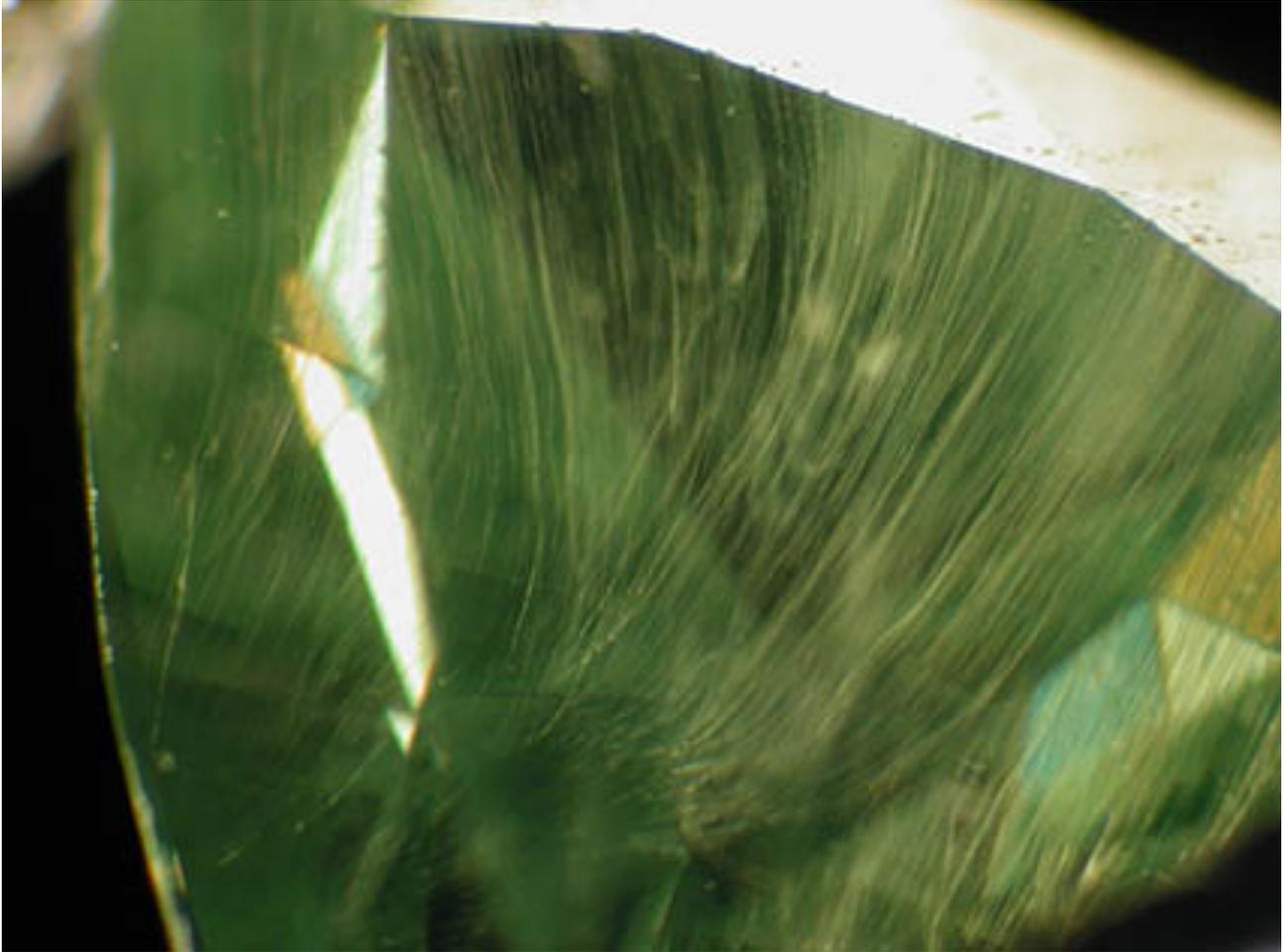


今月の写真/JGSニュースレター2017年16号 (5月16日発行)

「ダイヤモンドイド中のホーステール」



撮影・文： 高橋 泰 (倍率×40で撮影)

ダイヤモンドイドは“ダイヤモンドの様な”という意味のネーミングで、ファイアーの出やすさの指標である分散度がダイヤモンドよりも高いことからこの様に呼ばれているが、実際は緑色のガーネットである。しかし、美しいインクルージョンとしていつも名前が挙がるホーステールインクルージョンが見られることが特徴である。ただし、見られるのはほとんどがロシア産の石に限られる。毛状の結晶はビソーライトと呼ばれる角閃石質の石綿である。石綿も害を気にするご時世であるが、写真の様に結晶中に閉じ込められれば危険どころか非常に美しいものである。バラの棘に気を付ける様に、美しいものは適切に取り扱うことが大切である。